

信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部にて  
入院リハビリテーションを受けられた患者様またはご家族の方へ  
当部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年12月3日

**「脳腫瘍術後患者のリハビリテーション経過および転機に関わる要因の検討」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4569
研究課題名	脳腫瘍術後患者のリハビリテーション経過および転機に関わる要因の検討
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院リハビリテーション部
研究責任者(職名)	大澤竜司(理学療法士)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2024年12月3日
研究の意義、目的	この研究は脳腫瘍摘出術後、リハビリテーションを受けられた患者様の身体的、社会的回復の傾向から、自宅退院の可否に影響する要因を明らかにすることを目的とした研究であり、リハビリテーションプログラムの質の向上を図ります。
対象となる患者さん	2014年4月1日から2019年3月31日の期間に当院で脳腫瘍摘出術後、リハビリテーションを受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、リハビリテーション評価など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、術後リハビリの回復傾向や自宅退院の可否に影響を及ぼす要因と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	信州大学医学部附属病院リハビリテーション部/リハビリテーション科 堀内博志(科長)、井戸芳和(療法士長)、大澤竜司(理学療法士) 電話: 電話: 0263-37-2836 FAX: 0263-37-2835

**既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。